

「コンクリートの耐久性向上に関する日独セミナー」のご案内

材料研究室



コンクリートの耐久性向上により構造物の長寿命化を実現させ、ライフサイクルコストを低減させることは、現在のコンクリート技術において最重要課題の一つであります。

この度、北海道開発土木研究所は、流動研究員として、ドイツ・バウハウス大学 F.A. フィンガー建設材料科学研究所所長のスターク教授およびモーザー博士を招へいし、下記のとおりセミナーを開催することとなりました。バウハウス大学では、物理化学分析や環境顕微鏡による生成物の観察により、コンクリートの耐久性評価を行う研究がなされておりますが、ここ数年は、北海道開発土木研究所、北海道大学、日鐵セメント、日本データサービスと、活発に研究交流が行われています。

セミナーでは、コンクリートの耐久性向上に関する 5 題の講演を予定しております。多数のご参加をいただきまますようご案内申し上げます。

記

1. 主催：(独) 北海道開発土木研究所
2. 後援：(社) 土木学会北海道支部、北海道土木技術会コンクリート研究委員会
(社) 日本コンクリート工学協会北海道支部
3. 開催日時：平成15年 7月30日 (水) 13:00～17:00
4. 会場：北海道開発土木研究所 1階講堂
5. 参加費：無料
6. 定員：100名
7. 申込方法：参加を希望される方は、①参加者氏名、②勤務先・所属、③連絡先を明記し、北海道開発土木研究所材料研究室宛 Fax にて (Fax:011-837-8165) お申込み下さい。
8. 問合せ先：北海道開発土木研究所材料研究室 (Tel:011-841-1719担当：嶋田)
9. プログラム (都合により変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。)

13:00-13:05	開会挨拶 北海道開発土木研究所理事長 斎藤智徳
13:05-14:25	基調講演「コンクリートの耐久性に関する最近の課題」 バウハウス大学 Prof. Jochen. Stark
14:25-15:05	講演①「環境顕微鏡を用いたコンクリートの微細組織に関する研究」 バウハウス大学 Dr. Bernd - Möeser
15:05-15:10	休憩
15:10-15:45	講演②「稚内港北堤防ドームの補強・補修」 北海道大学大学院工学研究科教授 佐伯 昇
15:45-16:20	講演③「コンクリートの凍害機構 (スターク著「コンクリートの耐久性」より)」日本データサービス技術顧問 太田利隆
16:20-16:55	講演④「北海道開発土木研究所における耐久性向上に関する最近の研究」 北海道開発土木研究所材料研究室長 田口史雄
16:55-17:00	閉会

基調講演および講演①は英語、講演②③④は日本語で行います。
英語の講演には逐次通訳を予定しております。

